

詩に対する愛のために

イーシャ・サーデサイ

詩は普遍の言語です。

つまり、詩の中に、宇宙の生来の姿が現れています。宇宙は一瞬たりとも封じ込められません。その性質は、出現し、拡大し、さらに出現し、それを超えて拡大することを要求しています。

宇宙にはリズムがあります。その拍動は時間が始まった時に設定され、その最初のスパンダが生まれてから長い年月の間、それはただ感じられ続けて、そして聴かれることを強く求めてきました。

この音は次に、私たちの世界の幾何学、すなわちすべてのものを構成している原子と分子を刺激します。この創造を特徴付ける形や構造、パターンやフラクタルの中に、原初のパーカッションが視覚的に現れています。

私がこう話すのは、2022年のグルマリーの「季節のあいさつ」についてあなたと分かち合おうとしていることの前置きです。

まずは背景を少し説明しましょう。2011年、グルマリーの要請により、SYDA ファウンデーションはシッダ・ヨーガの道のウェブサイトを開きました。そして、2012年以來ほぼ毎年、私たちはグルマリーの「季節のあいさつ」を受け取るという素晴らしい祝福に恵まれてきました。

シッダ・ヨーギたちは、グルマールから自分への祝日の贈り物として、「季節のあいさつ」を受け取ることを楽しみにしてきました。なぜ私は、「自分への」と言うのでしょうか。なぜなら、私たち全員が同じ「季節のあいさつ」を受け取っていても、それぞれが独自の体験をするからです。

多くの皆さんがシッダ・ヨーガの道のウェブサイトで、グルマールからのこの贈り物が自分にとって何を意味するのか——それをどのように体験し、どのように認識しているか——を投稿しています。私はいつも皆さんが分かち合ってくれることを読むのが大好きで、そしてグルマールの「季節のあいさつ」が詩であるという皆さんの言葉に全面的に共感します。それは音楽です。それは芸術です。それは祝祭の季節の到来を告げるものであり、その最高の部分が蒸留されたものです——いら立ちのない喜び、不穏さのない平和、この世界にはもっと何かがあるというささやき、先端が黄金で魔法を持つ何か、といったものです。

親愛なるシッダ・ヨーギの皆さんは、グルマールの「季節のあいさつ」を「大いなる心に入る詩的な旅」と表現しています。それを受け取ることは「きらめく水で神聖な沐浴(もくよく)をするようなもの」と言っています。それは「シッダ・ヨーガのグルの恩恵と教えが世界のために何をするかを視覚的に表現している」と、「その音楽の最初の音からグルマールのダルシャンを体験した」と言っています。自分の中に湧き上がった洞察、思い出した教え、そして自分の中に生まれてきた詩を、あなたは共有してくれました。例えば、ある人はグルマールの 2016 年の「季節のあいさつ」に応じて、こう書いています。

愛は沈黙から浮かび上がり

無数の形で現れる。

ビロードのような青い海、

輝く星々、

金色にきらめく光、

らせん、ダイヤモンド、円、

文字、言語、意味、

すべてが心の豊かさを表現している。

そして

愛は沈黙へ、

神のマインドと身体へと戻る。

ご存じの方がどれだけいるのか分かりませんが、グルマーイの「季節のあいさつ」は——そのすべてが——グルマーイによってデザインされ、監修されています。これには、自身のビジョンを確実に実現するためのグルマーイの多大な努力、何時間にもわたる作業が伴います。

さらに、「季節のあいさつ」の各側面は、見る人であるあなたを念頭に置いて作られています。グルマーイにとって、あなたはいつも大切な存在です。あなたが自分自身についてどう思っているように、グルマーイはあなたを高く評価しています。

私は何年にもわたって、グルマーイが「季節のあいさつ」を作る時に、あなたについて、あなたのサーダナー、あなたの状況や体験について、彼女がどれほど考えているかを何度も話すのを聞く機会に恵まれました。ここであまり詳しく話すと何時間もかかるのでやめておきますが、理解の助けとなる一つの例を紹介しましょう。

2020年、多くの国でのロックダウンや旅行の制限などが報道されたため、人々が一年のかなりの部分を自宅で過ごしたことを、グルマーイは認識していました。グルマーイは、このことが人々の精神に与える影響、特に社会的な交流の欠如について懸念しました。従って、その年の「季節のあいさつ」では、グルマーイは皆さんに巡礼の体験を与えることを選びました——並

木道を抜け、ランプのともるカーブした道を進み、そして太陽が地平線から回りながら昇る中、堂々とした青色の山を登って行く8分間の旅です。

グルマーイは、彼女の教えの旅で行った巡礼の感覚——例えば、メキシコ、インド、日本、オーストラリアで彼女が行った巡礼——を再現したいと考えました。そうして、祝祭日の季節に物理的に飛行機に乗れなかったとしても、あなたは落胆する必要はありませんでした。あなたはまだ自由に呼吸することができ、何があってもあなたの神聖さは制限されないことを思い出すことができました。グルマーイはあなたに、自分の現実には制限があるように見える時でも、マインドが騒ぎ、未来に迫る暗闇を危惧する時でも、自分の中の光は決して失われないことを思い出せると教えていたのです。

グルマーイの「季節のあいさつ」の制作にかける思いがそれほどまでに強いのですから、ここには、私たちが受け取るべきもの、取り入れるべきもの、そして私たちがそれと共に在るべきものがたくさんあるという意識を持ちたいものです。私は個人的に、「季節のあいさつ」には目に見える以上のものがあるといつも感じます。私の体験では、それは簡単に説明したり、要約したり、まとめたりすることはできません。

しかし、一つだけ明言できるのは、「季節のあいさつ」はまさに常に旅についてであるということです。その旅は、2020年のようにより文字通りに描かれることもあれば、別の時にはもう少し比喩的、より印象派的、より明らかに詩的にもなります。覚えておくべき重要なことは、あなたが見るすべての色や形や質感、現れては消えるすべての言葉、そしてすべてに渦巻く音楽、それはグルマーイがあなたを導いている「内なる」旅であるということです。それはあなたの特別な巡礼です——あなたの最愛のグルによって、あなたのためにデザインされたものです。

多くの場合、「季節のあいさつ」が作られていく過程で、グルマーイは彼女の印象を、それを制作するセーヴァーをささげる有能な人々と共有し、その画像と教えが人々のサーダナーをどのように啓発するかについて話します。今年、グルマーイは初めて、彼女の体験の一つをシッダ・ヨーガの道のウェブサイトで共有することを要請しています。

この体験は、単にグルマーイの英知を表したものではありません。それはあなたの洞察のために役立つことを意図しています。グルマーイは、多くの人々が彼女の英知を受け取った時に深い体験をしているにもかかわらず、時間がないか、その瞬間に体験していることの重要性を認識していないためか、それを記憶に留めておくことをしないと説明しています。その結果、それらの体験はすぐに明瞭さと鮮やかさを失い、それらを思い出すことが難しくなります。ですから、私たちは皆、教えのダルシャンを受け取る体験、心に留めて実践している教えの体験を書き留めることが非常に重要なのです。グルマーイが私たちに自分の内なる宝物に大きな喜びを感じられるようになってほしいと願っていることを、私は確信しています。

グルマーイが「季節のあいさつ」の指示を出していたあるミーティングの中で、それに携わっている素晴らしい2人が、グルマーイのビジョンを実現する上での進捗状況を彼女に見せました。それを見て、グルマーイは彼らに、自分の言葉や着想の本質を理解してくれて嬉しいと言いました。彼らは、グルマーイが彼らに作ってほしかったものを理解していたのです。グルマーイは、確信を持ってそう言えると説明しました。なぜなら、グルマーイが「季節のあいさつ」を見ていた時、呼吸のリズムに合わせて、詩の言葉が彼女の内側から泉のように湧き出してきたからです。

グルマーイは言いました。「私の願い——この祝祭の季節のあいさつを世界に届けたいという願い——が形となっていくのを見ていると、それはまるで私のグル、バーバ・ムクターナンダへの祈りが内側から湧き上がってくるようでした」

グルマーイの詩、「私のグルへの祈り」は、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトで読むことができます。そして、その中で特にあなたの注意を促したいことがあります。それは、エーテルに軽やかに足を踏み入れ、より決定的な結論を見送る最後の符号、「…」です。もちろん、この符号は意図的に選ばれたものです。グルマーイは、それはこの詩がいかに動き、進化し、拡大し続けるかを示していると話しました。

「この詩は、丸天井の空を横切って弧を描く彗星(すいせい)のようです。それは果てしなく流れる川のように。その言葉はこの地球の周囲に広がる可能性を持ち、そしてさらに、無限に、永遠に、それは続いていくでしょう。それがグルの恩恵の力であり、サーダナーにささげられた人生の力です」と、グルマーイは言いました。

そうです、私たちは、12月1日にグルマーイの2022年の「季節のあいさつ」を受け取り、グルマーイのこの「季節のあいさつ」の体験を——いろいろな意味で無限な詩の形で——読んで、今ここにいます。これだけの豊かな英知と祝福を目の前にして、私は今、あなたが考えているかもしれないことを考えています。さて、私たちはどうすればいいのでしょうか？

一つ提案させてください。(そして——そうですね——この提案を準備していたこと、そしてそれを分かち合う瞬間を待ち望んでいたことを認めます。どう表現したらいいのでしょうか。それほどそのことにワクワクしているのです。)

あなたと私——つまり私たち全員——が、「季節のあいさつ」について自分自身の詩を書く時間を作ることを提案します。

覚えておいてください。詩を書くことの素晴らしさの一つは、従わなければならない文字数の制限がないことです。あなたの詩は論文である必要はなく、4部構成のドラマや、『イリアス』や『マハーバーラタ』のような叙事詩である必要はありません。それはほんの少しの短い言葉で構成することができます。詩はストロアのようなものです。それには私たちの体験のラサがひそんでいます。

先日、ある幼い子がグルマリーの 2022 年の「季節のあいさつ」に対する彼の返事について私に話してくれました。それは彼の母親が撮ったビデオで、その中で彼は、「季節のあいさつ」を見て自然に作り上げた詩を歌っていました。「あなたは僕のグル、昇る太陽のような！」と、彼は明るく歌っていました。彼はこのフレーズをもう一度歌い——そして3回目も歌い——彼の声は繰り返すたびにより大きく、より軽やかに、より歓喜を増していきました。「あなたは僕のグル、昇る太陽のような！ あなたは僕のグル、昇る太陽のような！」

この小さな男の子は、グルマリーが「季節のあいさつ」で自分自身の体験の一つを詩の形で伝えたことも、私たち全員が詩を書こうとしていることも知りませんでした。詩はまさに彼の内面から本能的に湧き出てきたものです。それは彼の体験の直感的な表現でした。

ですから、詩はすでに私たちのためにここにあると——すでにその純粹さと奥深さで、私たちの中に存在していると——考えることができるかもしれません。私たちのやるべきことは、恐らく、それらの言葉を発見し、詩を書いて記録することによって、それらを尊重することです。

そして詩を書いたら、それらをどうすればいいでしょうか？ 何人かの方々は、私が何を言いたいか察しがつくかもしれませんが。そうです、私たちはそれらの詩をお互いに共有することができますのです！ その一つの方法は、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトに掲載することです。

さて、あなたが自分は傑作を——模範的な詩を、叙情詩の最高峰を——書いたと信じていても、あるいは自分の書いたものはありふれた童謡にすぎないとなぜか確信していても、私はあなたに詩を投稿することをお勧めします。私は、それらの幾つかが選ばれて世界に発信されるという内部情報を入手しました😊。そして、その中にあなたの詩があるかもしれませんよ！

もう一つ提案したいことがあります。それは、これからの数日、数週間、自分が書いた詩に戻って読み返してほしいということです。これは、「季節のあいさつ」の最初の体験を思い出し、膨らませるのに役立ちます。そして、もっと書きたいと思ったら——ぜひとも書き続けてください。あなたの中の歌姫を解放してください！ この機会に、どれだけの英知があなた自身の存在の中から現れ、広がっていきたいと思っているか——そしてさらに現れ、その先まで広がっていきたいと思っているか——発見してください。

グルマーイが何度も皆さんに言っているように、「あなたは本当に素晴らしい」

